

けんこうニュース

発行所

奥津医院

南足柄市生駒381
電話 0465-74-0024
発行人 奥津紀一

医師会イントラネット
いよいよ活動開始



在宅医療二十四時間体制の実現を足柄上医師会は、平成七年より県や足柄上地区一市五町の補助を得てこの地区の在宅医療を二十四時間、保証する体制をつくる努力を重ねて来ました。

昨年十二月、医師会イントラネットが動きはじめ今年のはじめからその内容を蓄えて来ました。

二月二十六日、東海大大櫛教授より「医師会イントラネットの使い方」について講演をいただき内容について医師会会員に周知されました。
三月十五日、医師会、歯科医



はる (奥津直道画)

師会、薬剤師会が合同で行う。三師会在宅医療研究会で、これについて発表や話し合いを行い最終的な方向づけがされます。

寝たきりなどで在宅医療を受けている患者さんが夜中など急変した時まず主治医に連絡しますが主治医が不在などで連絡ができない時訪問看護ステーションを通して別の在宅医療担当者に連絡し、その医師に来ていただき患者さんに対応していただくというものです。
ここで二十四時間動いている医師会イントラネットが役に立つことになりま

駅伝メディカルサービス十周年記念会
順神会総会にぎやかに開催

二月二十四日(土)六時より横浜ランドマークタワー内のホテルニッコーにて順神会(順天堂大学医学部同窓会神奈川支部・当院長が会長)の総会が開催されました。

会員四十名、来賓二十名の出席をいただき盛会となりました。順神会が箱根駅伝のメディカルサービスをはじめ一〇周年になりますので、合わせてその

介護保険実施一周年

三月で介護保険が実施され、一年を経過することになりました。

この間いろいろな問題がありましたがおおむね順調に実施されています。

介護保険の必要度を決める介護認定審査会ですが、南足柄市では月六回開催され、当院長はじめ、審査認定委員は忙しい思いをしています。

介護保険の対象が手や足を動かすことがむずかしい人、ボケなどの痴呆の人を対象として

記念会を行いました。

陸上競技連盟の役員や順天堂大学の沢木、山梨学院大学の松田、平成国際大学の松田、駅伝監督で有名な方々も出席をいただきました。

席上、メディカルサービスに参加した医師や、後方支援病院に感謝状が贈られました。



いるため、手や足が不自由でも一応歩ける人や、痴呆がないが歩けない人などは生活で困っている割に要介護度が低く出る傾向になっています。

介護を必要としている人に対する介護サービスの提供も施設入所希望者に対する施設の数不足していますが、その他のサービスはほぼ充足されています。

この地域は各自自治体の介護保険に対する積極的とりくみもあつておおむね順調に経過しています。

湧言飛語



ひとつの災害対策

いま医師会と行政の間で、災害時に特別な配慮が必要とされる人々の登録について検討しています。

ねたきりで在宅医療を受けている人、人工腎臓の透析治療を受けている人、視覚障害などの身体に障害の方などがおもな対象となると思います。

希望する方に登録をしていたら、その登録をもとに大災害時の対策を立案し、いざ災害時には、リストを救助機関に提供するというものです。

対象となる方々と接触の多い、医師会が窓口になろうとしています。保健センターとか、市役所などでも良いのかも知れません。

登録された方々のプライバシーを守りながら、実際役立つ仕事をするのはむずかしいことです。

院長